学校番号	１０１２

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ応用 B	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

具体的な作例をあげて、解りやすい指導を心がける。作品が完成するまでの過程を重視し、計画的に制作していけるよう指導する。デジタルによる動画を作成できるスキルを身に付け、とりわけ人権を意識した作品を制作することを目標とする

2　学習の到達目標

・コンピュータやネットワークを利用して動画を作成発表する能力技術を身につける。
・コンピュータを用いて動画を作成において。メディアリテラシーを理解し、効果的な手法（エフェクト）をいかして、思考力、判断力を身につける。
・主体的に製作・加工・編集を行い、各自の作品を制作することができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	どのような動画を制作するか。企画書や絵コンテを作成し、ビデオを撮り、コンピュータのソフトやスマートフォンのアプリケーションで編集する。 作品を提出、発表、ほかの生徒と相互評価を行う。 作品の自己評価振り返りを行う。	動画の作成などを通してオリジナルで生徒自身のこだわりの作品を制作することができる。また編集の手段などを目的に応じて判断する、とりわけ LAN システムの動画ソフト、chrome book やスマートフォンの添付ソフトなどを使用する。	より良い作品を作るために粘り強く取り組む。また、他者の作品を見て客観的に評価を行うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	動画制作の基礎	動画編集ソフトの利用 こだわりの逸品動画編集 文化祭動画編集 ニュースキャスター動画編集	a: 動画データの加工方法の習得し適切に表現できる b: 企画書や絵コンテを通して目的に応じた作品を制作することができる。 c: より良い作品を作るために粘り強く取り組み映像データの転送などの技術。また、他者の作品を見て客観的に評価を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 実技テスト レポート 等
2学期	動画作品制作の応用	動画編集ソフトの利用2 実写パラパラ動画 トリック動画 体育祭応援合戦(多方向編集)	a: mp4、MOV、WMV 等の動画形式の特性や編集方法などを理解する。 b: 動画の作成などを通してオリジナルの作品を作成することができる。また編集用のツールなどを目的に応じて判断し、実行できる。 c: より良い作品を作るために粘り強く取り組む。また、他者の作品をチェックして客観的に評価を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 実技テスト レポート 等

3学期	動画作品制作の発展	動画編集ソフトの利用3 MSST(松高ソーシャルスキルトレーニング)ビデオ制作 あなたも私も Youtuber(動画制作) 動画批評	a:ソーシャルスキルができ、トレーニング方法が動画として制作できる b:自分のこだわりから社会現象などを自分の表現として動画で発信できる。 c:自己評価を行う。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 実技テスト レポート 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度